

What is claimed is :

【請求項 1】

複数の貸出先を有する金融機関における貸倒金額の確率分布算出装置であって、前記複数の貸出先のそれぞれの貸出金額と倒産確率とを入力するための、入力手段と、

前記入力手段で入力された前記貸出金額と前記倒産確率に基づいて、その特性関数を算出するための、特性関数算出手段と、

前記特性関数算出手段により算出された前記特性関数をフーリエ逆変換をすることにより、確率分布を算出するための、確率分布算出手段と、

前記確率分布算出手段により算出された前記確率分布を出力するための、確率分布出力手段と、

を備えることを特徴とする貸倒金額の確率分布算出装置。

【請求項 2】

前記確率分布算出手段では、高速フーリエ変換法を用いて、フーリエ逆変換をすることを特徴とする請求項 1 に記載の貸倒金額の確率分布算出装置

【請求項 3】

前記入力手段で入力された前記貸出金額を、所定単位の整数倍にまとめるための、貸出金額まとめ手段を、さらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載の貸倒金額の確率分布算出装置。

【請求項 4】

前記確率分布算出手段では、縦軸に確率密度をとり、横軸に貸倒金額をとる、グラフを出力するとともに、このグラフの横軸の最大値を貸出金総合計額とする、ことを特徴とする請求項 1 に記載の貸倒金額の確率分布算出装置。

【請求項 5】

前記確率分布算出手段では、縦軸に確率密度をとり、横軸に貸倒金額をとる、グラフを出力するとともに、このグラフの横軸の最大値をそれ以上の貸倒金額が発生する確率が算出処理上実質的にゼロとみなせる貸倒金額とする、ことを特徴とする請求項 1 に記載の貸倒金額の確率分布算出装置。